

0200

a — 観測時前3時間を通じての気圧変化傾向

- 0 上昇後下降 —現在の気圧は3時間前の気圧に等しいか又はそれより高い
- 1 上昇後一定, 上昇後緩上昇
- 2 一定上昇, 変動上昇*
- 3 下降後上昇, 一定後上昇, 上昇後急上昇
- 4 一定 —現在の気圧は3時間前の気圧に等しい*
- 5 下降後上昇 —現在の気圧は3時間前の気圧に等しいか又はそれより低い
- 6 下降後一定, 下降後緩下降
- 7 一定下降, 変動下降*
- 8 一定後下降, 上昇後下降, 下降後急下降

現在の気圧は3時間前の気圧より高い

現在の気圧は3時間前の気圧より高い

*自動気象観測所からの通報には規則 12.2.3.5.3 参照。

0439

b_j — 陸氷

- 0 陸氷はない
 - 1 氷山が1~5個, 氷岩又は氷山片はない
 - 2 氷山が6~10個, 氷岩又は氷山片はない
 - 3 氷山が11~20個, 氷岩又は氷山片はない
 - 4 氷岩及び氷山片が10個以下, 氷山はない
 - 5 氷岩及び氷山片が10個より多い, 氷山はない
 - 6 氷山が1~5個, 氷岩及び氷山片を伴う
 - 7 氷山が6~10個, 氷岩及び氷山片を伴う
 - 8 氷山が11~20個, 氷岩及び氷山片を伴う
 - 9 氷山が20個より多い, 氷岩及び氷山片を伴う—航行に重大な危険を及ぼす
- / 暗闇, 視程不良又は海氷のみが見えるため報告できない

C_H — 巻雲 (Ci), 巻積雲 (Cc), 巻層雲 (Cs)0 C_iの雲がない

巻雲、巻積雲、巻層雲がない

1 巻雲—毛状(fibratus)又は巻雲—かぎ状(uncinus)空に広がる傾向はない

多くの線、すじ、又はかぎの形をした巻雲、空に広がる傾向はない。

2 巻雲—濃密(spissatus)空に広がる傾向はない積乱雲からきたものではない、又は巻雲—塔状(castellanus)、巻雲—房状(floccus)

かたまり、又はもつれた束のように見える濃い巻雲であって、普通増加しない。ときには積乱雲の上部の名残りのように見える。又は塔のような形か、のこぎりの歯のような小さな丸い雲塊が立ち上っている巻雲又は積雲状の房の外観をした巻雲。

3 積乱雲からきた巻雲—濃密(spissatus)

濃い巻雲で、積乱雲の上部の名残りである。かなとこ形をしていることが多い。

4 巻雲—かぎ状又は巻雲—毛状又はそれらの共存、次第に空に広がっていく。普通全体として厚くなっていく

かぎの形又は細い線の形又はその両方の形をした巻雲で、次第に空に広がっていく。普通全体として厚くなっていく。

5 巻雲(しばしば放射状である)と巻層雲又は単に巻層雲、次第に空に広がっていき、全体として厚くなっていくが、連続したベール状の層は地平線上45°以上には達していない

巻雲(帯状となって、地平線上の一点又は2つの対立している点から放射しているような形で表れることが多い巻雲)と巻層雲、又は単に巻層雲だけがある。どちらの場合にも空に広がりつつあり、全体として濃くなっていくが、まだ連続した雲層の前面が地平線上45°以上には達していない。

6 巻雲(しばしば放射状である)と巻層雲又は単に巻層雲、次第に空に広がっていき、一般に全体が厚くなっていく、連続したベール状の層は地平線上45°以上に広がっているが、全天をおおってはいない

巻雲(帯状となって、地平線上の一点又は2つの対立している点から放射しているような形で表れることが多い巻雲)と巻層雲だけがある。どちらの場合にも空に広がりつつあり全体として濃くなっていく。連続した雲層の前面が地平線上45°以上に達しているがまだ全天をおおっていない。

7 巻層雲、全天をおおう

ベール状をした巻層雲が全天をおおっている。

8 巻層雲、空をおおってはいないし、また、それ以上空に広がる傾向はない

天空を完全におおってはいないし、また、それ以上空に広がる傾向のない巻層雲。

9 巻積雲又はC_iの雲の中で巻積雲が卓越している

巻積雲のみ、又は巻雲や巻層雲と共存している巻積雲、ただし巻積雲が卓越している。

/ C_Hの雲が暗くて見えない。霧、風じんなどの現象でC_Hの雲が見えない。低い連続した雲層があつてC_Hの雲が見えない。

C_L — 層積雲 (Sc), 層雲 (St), 積雲 (Cu), 積乱雲 (Cb)0 C_Lの雲がない

層積雲, 層雲, 積雲, 積乱雲がない。

1 積雲-へん平 (humilis) 又は悪天候下のものでないときの積雲-断片 (fractus) 又はそれらの共存

あまり鉛直に発達していない一見平坦な形をしている積雲, 又は悪天候下のものでないほつれた積雲, 又はその両方がある。

2 積雲-並 (mediocris) 又は積雲-雄大 (congestus); 雲底が同じ高さにある, 積雲-断片, 積雲-へん平, 層積雲があってもよい

中程度又は著しく鉛直にのびた積雲で, その頂部は塔状又は円型の屋根のような形をして盛り上っている。他の積雲又は層積雲を伴うこともある。それらの雲底のすべては同じ高さにある。

3 積乱雲-無毛 (calvus); 積雲, 層積雲, 層雲があってもよい

積乱雲の頂部は, はっきりした巻雲状でもないし, また, かなとこ状にもなっていないが, 少なくとも部分的には輪郭がぼやけてきた積乱雲で, 積雲, 層積雲又は層雲が共存していることが多い。

4 積雲が広がってできた層積雲; 積雲があってもよい

積雲が広がってできた層積雲で, 積雲がでていることが多い。

5 層積雲; ただし積雲が広がってできた層積雲を除く

積雲が広がってできたものではない層積雲。

6 層雲-霧状 (nebulosus) 又は悪天候でないときの層雲-断片 (fractus)

多少連続した幕状又は層状をした層雲又はほつれた雲片となった層雲で, 両方が共存していてもよい。悪天候下の層雲断片はない。

7 悪天候下の層雲-断片 (fractus) 又は積雲-断片 (ちぎれ雲, fractus); 通常高層雲又は乱層雲の下にある

通常, 高層雲又は乱層雲の下にあるちぎれ雲 (Pannus) である悪天候下の層雲-断片, 悪天候下の積雲-断片, 又はその共存。

8 積雲と層積雲; ただし, この層積雲は積雲が広がってできたのではなく, 積雲とは雲底の高さが違う

積雲と, 積雲が広がってできたものではない層積雲。積雲の高さは層積雲の高さとちがう。

9 積乱雲-多毛 (capillatus) (かなとこ状をしていることが多い); 積乱雲-無毛, 積雲, 層積雲, 層雲, ちぎれ雲があってもよい

かなとこ状をなすことが多く, 上部があきらかに毛状 (巻雲状) をなした積乱雲で, かなとこ状又は毛状の頂部をもたない積乱雲, 積雲, 層積雲, 層雲, ちぎれ雲が共存していてもよい。

/ C_Lの雲が暗くて見えない。霧, 風じん等の現象でC_Lの雲が見えない。

C_M—高積雲 (Ac), 高層雲 (As), 乱層雲 (Ns)0 C_Mの雲がない

高積雲, 高層雲, 乱層雲がない。

1 高層雲—半透明 (translucidus)

半分以上が半透明な高層雲。あたかもすり硝子を透して見たときのように雲の半透明な部分から太陽又は月がかすかに見える。

2 高層雲—不透明 (opacus) 又は乱層雲

半分以上が太陽や月を隠してしまう程厚い高層雲, 又は乱層雲。

3 高積雲—半透明 (translucidus); 1層をなし, 全天をおおう傾向はない

半分以上が半透明の高積雲。雲を形成する小雲片の一つ一つは変化するが, ゆっくりであり, すべて1層であって重なり合っていない。

4 高積雲—半透明; レンズ状のもの, 絶えず形が変化し, また, できたり消えたりする, 全天をおおう傾向はない

半分以上が半透明の高積雲の団塊 (しばしばアーモンド又は魚の形をしている), 1層又は数層からなり, この雲片の一つ一つはたえず変化しつつある。

5 高積雲—半透明; 帯状のもの又は高積雲—半透明又は高積雲—不透明, 1層又は2層以上の層をなす; これらの雲はいずれも次第に空に広がっていく, また全体が厚くなっていく

帯状をなす半透明の高積雲又は連続的な1層又は数層の高積雲 (半透明又は不透明)。これら的高積雲は次第に空に広がり, 普通全体として厚くなる。

6 積雲又は積乱雲が広がってできた高積雲

積雲又は積乱雲が広がってできた高積雲。

7 高積雲—不透明 (opacus) 又は2層以上の高積雲—半透明; 雲が全天に広がる傾向はない。又は高層雲か乱層雲を伴う高積雲

普通部分的には不透明で, 空に広がる傾向のない2層以上からなる高積雲。又は空に広がる傾向のない高積雲の不透明な層。又は高層雲, 又は乱層雲, 又はその両方と共存している高積雲。

8 高積雲—塔状又は高積雲—房状 (castellanus or floccus)

小さな塔の形の突起をした高積雲又は積雲状の房のような外観をした高積雲。

9 混沌とした空の高積雲, 一般にいくつかの層になっている

混沌とした空の高積雲で, 一般にいくつかの層になっている。

/ C_Mの雲が暗くて見えない。霧, 風じんなどの現象でC_Mの雲が見えない。下の層が連続した雲層をなしているためC_Mの雲が見えない。

C_i—海氷の密接度又は配列

- 0 視界内に海氷はない
- 1 船は幅 1 海里を超える開放水路 (Open lead) の中にいるか、又は氷域境界を認めることのできない定着氷の中にいる
- 2 海氷の密接度は 3/10 以下 (3/8 未満) ; 開放水面又は分離氷域の流氷
- 3 海氷の密接度は 4/10~6/10 (3/8 ~6/8 未満) ; 疎氷域の流氷
- 4 海氷の密接度は 7/10~8/10 (6/8 ~7/8 未満) ; 密氷域の流氷
- 5 海氷の密接度は 9/10 以上 10/10 未満 (7/8 以上 8/8 未満) ; 最密氷域の流氷
- 6 小氷帯と流氷原があり、間に開放水面を伴う
- 7 小氷帯と密又は最密氷域の流氷原があり、間により小さな密接度の氷域を伴う
- 8 定着氷があり、氷域境界の海側に開放水面や、分離又は疎氷域の流氷がある
- 9 定着氷があり、氷域境界の海側に密又は最密氷域の流氷がある
- 海氷の密接度は観測海域
で一樣である
- 海氷の密接度は観測海域
で一樣でない
- 船は氷中又は氷の縁から 0.5 海里
以内にいる

/ 暗闇、視程不良のため、又は船が氷の縁から 0.5 海里を超えて離れているため報告できない

0700

- D - 地上風の風向 (真方位)
- 氷が過去 12 時間に流れた方向 (真方位)
- D_H - C_H で報じた雲の向き (真方位)
- D_K - うねりの来る方向 (真方位)
- D_L - C_L で報じた雲の向き (真方位)
- D_M - C_M で報じた雲の向き (真方位)
- D_a - 地形性の雲又は鉛直に発達した雲の見える方向 (真方位)
- 現象を観測した方向 (真方位) 又は同じ群で記述した事象を報じた方向 (真方位)
- D_e - エコーパターンの移動方向 (真方位)
- D_p - 現象の移動してくる方向 (真方位)
- D_s - 船の進路 (観測時前 3 時間の位置から現在の位置へ移動した結果として生じた方位) (真方位)
- D₁ - 観測所から該当地点への方位 (真方位)
- d_{w2} - うねりの来る方向 (真方位)

静穏又は平穏 (D, D_K, d_{w2}), 位置は変わらない (D_s), 観測所で観測 (D_a, D₁), 位置は変わらない又は雲がない

(D_H, D_L, D_M)

1 北東

2 東

3 南東

4 南

5 南西

6 西

7 北西

8 北

9 すべての方向にある (D_a, D₁), 混沌として定め難い (d_{w2}, D_K), 変化多い (D (風)), 不明 (D_s, D (氷)),

不明又は雲が見えない (D_H, D_L, D_M)

/ 沿岸観測所からの報告又は報告しないことに定められた船舶 (D_s 規則 12.3.1.2 (b) 参照)

D_i—主要な氷の縁の方位（真方位）

- 0 船は沿岸水路又は分離帯水路の中にいる
 - 1 北東に氷の縁
 - 2 東に氷の縁
 - 3 南東に氷の縁
 - 4 南に氷の縁
 - 5 南西に氷の縁
 - 6 西に氷の縁
 - 7 北西に氷の縁
 - 8 北に氷の縁
 - 9 決定できない（船が氷中にあるため）
- / 暗闇，視程不良のため，又は陸氷のみが見えるため報告できない。

- dd — 風向又は予想風向（真方位）
 — 格子点における予想風向（真方位）
 — 雲の動きから推定した風向（真方位）
- $d_e d_e$ — 小エコーの移動方向（真方位）
- $d_h d_h$ — 高度 h_x, h_x, h_x における予想風向（真方位）
- $d_j d_j$ — ジェット気流の風向（又は予想風向）（真方位）
- $d_m d_m$ — 高度 h'_m, h'_m における極大風の予想風向（真方位）
 — 飛行高度 n_m, n_m, n_m における最大風の予想風向（真方位）
- $d_s d_s$ — 熱帯低気圧の中心又は眼若しくは e_t で報じたエコー系の動く方向（真方位）
 — 気圧系，前線又は区域の動く方向（真方位）
 — 熱帯低気圧又は雲系の動く方向（真方位）
- $d_w d_w$ — 波浪の来る方向（真方位）
- $d_{w1} d_{w1}$ } うねりの来る方向（真方位）
 $d_{w2} d_{w2}$ }
- $d_o d_o$ — 海面における海流の動く方向（真方位）
- $d_o d_o$ }
 $d_1 d_1$ } 海面及び選択水深面又は特異点における海流の動く方向（真方位）
 \dots }
 $d_n d_n$ }
- $d_1 d_1$ }
 $d_2 d_2$ } 指定気圧面における風向（真方位）
 \dots }
 $d_n d_n$ }

追録

00 静穏 ($d_s d_s$: 移動しない, 又は波浪なし)

01 $5^\circ - 14^\circ$

20 $195^\circ - 204^\circ$

02 $15^\circ - 24^\circ$

21 $205^\circ - 214^\circ$

03 $25^\circ - 34^\circ$

22 $215^\circ - 224^\circ$

04 $35^\circ - 44^\circ$

23 $225^\circ - 234^\circ$

05 $45^\circ - 54^\circ$

24 $235^\circ - 244^\circ$

06 $55^\circ - 64^\circ$

25 $245^\circ - 254^\circ$

07 $65^\circ - 74^\circ$

26 $255^\circ - 264^\circ$

08 $75^\circ - 84^\circ$

27 $265^\circ - 274^\circ$

09 $85^\circ - 94^\circ$

28 $275^\circ - 284^\circ$

10 $95^\circ - 104^\circ$

29 $285^\circ - 294^\circ$

11 $105^\circ - 114^\circ$

30 $295^\circ - 304^\circ$

12 $115^\circ - 124^\circ$

31 $305^\circ - 314^\circ$

13 $125^\circ - 134^\circ$

32 $315^\circ - 324^\circ$

14 $135^\circ - 144^\circ$

33 $325^\circ - 334^\circ$

15 $145^\circ - 154^\circ$

34 $335^\circ - 344^\circ$

16 $155^\circ - 164^\circ$

35 $345^\circ - 354^\circ$

17 $165^\circ - 174^\circ$

36 $355^\circ - 4^\circ$

18 $175^\circ - 184^\circ$

99 変化多し, 又はあらゆる方向, 又は不明 ($d_s d_s$),

19 $185^\circ - 194^\circ$

又は混沌として波浪の方向定め難い

1600

h—最低雲の底の地面からの高さ

0	50m 未満	6	1,000m 以上	1,500m 未満
1	50m 以上 100m 未満	7	1,500m 以上	2,000m 未満
2	100m 以上 200m 未満	8	2,000m 以上	2,500m 未満
3	200m 以上 300m 未満	9	2,500m 以上	1,500m 未満
4	300m 以上 600m 未満	/	雲の底の高さ不明, 又は雲の底は観測所より低く, 雲の頂は観測所より高い	
5	600m 以上 1000m 未満			

注：(1) 高さが数値の範囲の末端の値になった場合は、高い方の数字符号を報ずる。例えば 600m は h=5 と報ずる。

(2) 自動気象観測所で雲の観測装置の限度を超える場合、数字符号 h の通報は、次の 3 つのうちの 1 つによる。

(a) 雲底の実際の高さは数字符号の示す範囲内にあり、又は

(b) 雲底の高さは測器の限度を超えるため決定できない場合は、数字符号の示す最大値、又は

(c) 観測所の上空には雲がない。

1751

I_S—船舶の着氷の種類

- 1 海水のしぶきによる着氷
- 2 霧による着氷
- 3 しぶき及び霧による
- 4 雨による着氷
- 5 しぶき及び雨による着氷

1819

i_R —降水群の有無を示す指示符

	降水資料を通報する節	6RRRt _R 群
0	第1節, 第3節	両節に含む
1	第1節	含む
2	第3節	含む
3	第1節, 第3節ともなし	省略する(降水がない)
4	第1節, 第3節ともなし	省略する(資料が入手できない又は通報しない)

1855

i_W —風の観測方法及び風速の単位の指示符

0	目測による風速	} 風速は m/s 単位
1	風速計により測定した風速	
3	目測による風速	} 風速はノット単位
4	風速計により測定した風速	

2700

N —全雲量

N_h —すべての C_L に属する雲の雲量, 又は C_L がいない場合はすべての C_M に属する雲の雲量

N_s —C で報じた個々の雲層又は雲塊の雲量

N' —雲底が観測所より下にある雲の雲量

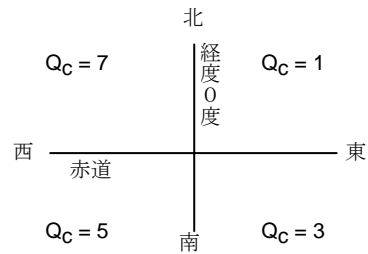
	10分雲量	8分雲量
0	0 (一点の雲もない)	0 (一点の雲もない)
1	1以下しかし0ではない	1/8以下しかし0ではない
2	2~3	2/8
3	4	3/8
4	5	4/8
5	6	5/8
6	7~8	6/8
7	9~10 (9以上しかし10ではない)	7/8以上8/8ではない
8	10 (隙間なし)	8/8
9	天空が霧及び / 又はその他の天気現象により不明である	
/	霧及び / 又はその他の天気現象以外の理由で, 雲量を識別することができない又は雲量を観測しない	

注: / を使用する場合は規則 12.1.4 参照

3333

Q_C—地球の四半球

	緯度	経度
1	北緯	東経
3	南緯	東経
5	南緯	西経
7	北緯	西経



注：四半球の選択は、次の場合は観測者が決定する。

船舶が 0° 又は 180° の経度線上にある場合 ($L_oL_oL_oL_o=0000$ 又は 1800)

Q_c=1 又は 7 (北半球) 又は Q_c=3 又は 5 (南半球)

船舶が赤道上にある場合 ($L_aL_aL_a=000$)

Q_c=1 又は 3 (東経) 又は Q_c=5 又は 7 (西経)

3551

R_S—船舶の着氷速度

- 0 着氷は進行していない
- 1 ゆるやかに着氷
- 2 急速に着氷
- 3 氷がゆるやかに融ける, 又は崩壊する
- 4 氷が急速に融ける, 又は崩壊する

3590

RRR-t_Rによって指示した期間の降水量

	mm		mm
000	使用しない	990	微量
001	1	991	0.1
002	2	992	0.2
...	...	993	0.3
988	988	994	0.4
989	989以上	995	0.5
		996	0.6
		997	0.7
		998	0.8
		999	0.9

注：規則 22. 5. 2. 1 及び 22. 5. 2. 2 参照

3739

S_i—海氷の発達過程

- 0 新成氷のみ（氷晶，グリース・アイス，雪泥，スポンジ氷）
 - 1 ニラス又は氷殻，厚さ 10cm 未満
 - 2 板状軟氷（薄い板状軟氷，厚い板状軟氷），厚さ 10～30cm
 - 3 大部分は新成氷及びび／又は板状軟氷，一部に一年氷を伴う
 - 4 大部分は薄い一年氷，一部に新成氷及びび／又は板状軟氷を伴う
 - 5 すべてが薄い一年氷（厚さ 30～70cm）
 - 6 大部分は並（厚さ 70～120cm）の一年氷及び厚い（厚さ 120cm を超える）一年氷，一部にやや薄い一年氷を伴う
 - 7 すべてが並及び厚い一年氷
 - 8 大部分は並及び厚い一年氷，一部に古い氷（通常厚さ 2m 以上）を伴う
 - 9 大部分が古い氷
- / 暗闇，視程不良のため，陸氷のみが見えるため又は船が氷の縁から 0.5 海里以上離れているため報告できない

3845

s_n —温度及びrrrrrrrの値の正負の符号

0 正又は0

1 負

9 相対湿度

注：(1) 2～8 は使用しない

(2) 9 は規則 12, 2, 3, 3, 1 参照

4019

t_R —観測時までには終わっている降水量を測定した期間

1 観測時前 6 時間の降水量

2 観測時前 12 時間の降水量

3 観測時前 18 時間の降水量

4 観測時前 24 時間の降水量

5 観測時前 1 時間の降水量

6 観測時前 2 時間の降水量

7 観測時前 3 時間の降水量

8 観測時前 9 時間の降水量

9 観測時前 15 時間の降水量

(1) 降水の期間が符号表 4019 に含まれていない場合、又は期間が通報の時刻に終わっていないならば、 t_R は 0 とする。

(2) 加盟国は、数字符号 0 の使用が必要となるような、国際方式からの逸脱を避けるよう勧告されている。数字符号 0 の規定は Manual on codes 第 II 巻に示すべきである。

VV—地表の水平視程

VsVs—海の方の視程

VV	Km	VV	km	VV	Km
00	<0.1	34	3.4	68	18
01	0.1	35	3.5	69	19
02	0.2	36	3.6	70	20
03	0.3	37	3.7	71	21
04	0.4	38	3.8	72	22
05	0.5	39	3.9	73	23
06	0.6	40	4.0	74	24
07	0.7	41	4.1	75	25
08	0.8	42	4.2	76	26
09	0.9	43	4.3	77	27
10	1.0	44	4.4	78	28
11	1.1	45	4.5	79	29
12	1.2	46	4.6	80	30
13	1.3	47	4.7	81	35
14	1.4	48	4.8	82	40
15	1.5	49	4.9	83	45
16	1.6	50	5.0	84	50
17	1.7	51	} 使用しない	85	55
18	1.8	52		86	60
19	1.9	53		87	65
20	2.0	54		88	70
21	2.1	55		89	>70
22	2.2	56	6	90	<0.05
23	2.3	57	7	91	0.05
24	2.4	58	8	92	0.2
25	2.5	59	9	93	0.5
26	2.6	60	10	94	1
27	2.7	61	11	95	2
28	2.8	62	12	96	4
29	2.9	63	13	97	10
30	3.0	64	14	98	20
31	3.1	65	15	99	≥50
32	3.2	66	16	//	観測しない
33	3.3	67	17		

4451

V_S—観測時前3時間を通じての船の平均速度

0	0 ノット	0km/h
1	1～5 ノット	1～10km/h
2	6～10 ノット	11～19km/h
3	11～15 ノット	20～28km/h
4	16～20 ノット	29～37km/h
5	21～25 ノット	38～47km/h
6	26～30 ノット	48～56km/h
7	31～35 ノット	57～65km/h
8	36～40 ノット	66～75km/h
9	40 ノットを超える	75km/h を超える

/ 該当しない（沿岸の観測所からの報告）又は報告しない

（規則 12. 3. 1. 2 (b) 参照）

4531

W_{a1} }
W_{a2} } — 自動気象観測所の過去天気

- 0 重要な天気が観測されなかった。
- 1 視程不良 (VISIBILITY REDUSED)
- 2 風の現象, 視程不良を伴う (blowing phenomena, visibility reduced)
- 3 霧 (FOG)
- 4 降水 (PRECIPITATION)
- 5 霧雨 (drizzle)
- 6 雨 (rain)
- 7 雪又は凍雨 (snow or ice pellets)
- 8 しゅう雨性又は観測時前1時間内に止み間があった降水 (showers or intermittent precipitation)
- 9 雷電 (thunderstorm)

注：この符号表では、さまざまな自動観測所の、異なるレベルの天気表現能力に合わせて、天気を漸次複雑に表現している。基本的な観測能力しか持っていない観測所では、より小さな数字符号の基本的、総括的な表現（この符号表では、ゴチック体で示す。）を用いる。より進んだ高い天気表現能力を持った観測所は、より詳細な表現（より大きい数字符号）を用いる。

4561

W₁, W₂, 前 1 時間内の天気

W₁, W₂—有人気象観測所の過去天気（*は我が国における規定を表す）

- 0 全期間を通じて雲量 5 以下
- 1 全期間のある時は雲量 6 以上, ある時は 5 以下
- 2 全期間を通じて雲量 6 以上
- 3 砂じんあらし, 高い地ふぶき (視程 1km 未満*)
- 4 霧, 氷霧 (視程 1km 未満*) 又は濃煙霧 (視程 2km 未満*)
- 5 霧雨
- 6 雨
- 7 雪又はみぞれ
- 8 しゅう雨性降水
- 9 雷電 (雷電のみの場合を含む—規則 12.2.6.4.11 参照) —降水を伴っても伴わなくてもよい。

ww—有人気象観測所の現在天気

*—我が国でのみ用いる通報基準

ww=00—49：観測時に観測所に降水なし

ww=00—19：観測時又は観測時前1時間内（ただし、ww=09及び17を除く）に、観測所に降水、霧、氷霧（ww=11及び12を除く）、砂じんあらし又は地ふぶきがない

- | | | | | | |
|---------------|---|----|---|---|---------------|
| 大気水象（雲を除く）がない | } | 00 | 雲の変化不明 | } | 前1時間内の空の状態の変化 |
| | | 01 | 雲が消散しているか又は衰弱している | | |
| | | 02 | 空模様全般に変化がない | | |
| | | 03 | 雲が発生しているか又は発達している | | |
| 煙霧、ちり、砂又は煙 | } | 04 | 煙 例えは野火、山火の煙、工場の煙、火山灰等のため視程が悪くなっている（*視程10km未満） | | |
| | | 05 | 煙霧（haze）（*視程10km未満） | | |
| | | 06 | 空中広くちり（dust）、黄砂*が浮遊している（ちり煙霧）（観測時に観測所付近で風に巻き上げられたものではない）（*視程10km未満） | | |
| | | 07 | 観測時に観測所又は観測所付近から風に巻き上げられたちり又は砂（風じん）はあるが発達したじん旋風（dust whirl(s) or sand whirl(s)）又は砂じんあらし（duststorm or sandstorm）はない、また船舶の場合は観測点で高いしぶきがある | | |
| | | 08 | 観測時又は観測時前1時間内に観測所又は観測所付近に発達したじん旋風（dust whirl(s) or sand whirl(s)）が観測されたが、砂じんあらし（duststorm or sandstorm）はない | | |
| | | 09 | 観測時に視界内に砂じんあらし（duststorm or sandstorm）あり、又は観測時前1時間内に観測所に砂じんあらしあり | | |
| | | 10 | もや（*視程10km未満） | | |
| | | 11 | 観測所に地霧又は低い氷霧があり、散在している（目の高さ以下、海上の場合は10m以下） | | |
| | | 12 | 観測所に地霧又は低い氷霧があり、連続している（目の高さ以下、海上の場合は10m以下） | | |
| | | 13 | 電光は見えるが、雷鳴は聞こえない | | |
| | | 14 | 視界内に降水があるが、地面又は海面に達していない | | |
| | | 15 | 視界内に降水あり、地面又は海面に達しているが、観測所から遠い（5km以上） | | |
| | | 16 | 視界内に降水あり、地面又は海面に達しているが、観測所にはない（5km未満） | | |
| | | 17 | 雷電観測時に降水なし | | |
| | | 18 | 観測時又は観測時前1時間内に観測所又は視界内にスクールあり | | |
| | | 19 | 観測時又は観測時前1時間内に観測所又は視界内にたつまき（funnel cloud (s), tornado cloud or waterspout）あり | | |

ww=20-29 : 観測時前 1 時間内に観測所に降水, 霧, 氷霧又は雷電があったが, 観測時にはない

- 20 霧雨 (drizzle) 又は霧雪 (snow grains) があった
- 21 雨があった
- 22 雪があった
- 23 みぞれ又は凍雨 (ice pellet) があった
- 24 着氷性の雨 (freezing rain) 又は着氷性の霧雨 (freezingdrizzle) があった。
- 25 しゅう雨がかった
- 26 しゅう雪又はしゅう雨性のみぞれがあった
- 27 ひょう (hail), 氷あられ (small hail), 雪あられ (snow pellets) 又は雨を伴うひょう, 氷あられ, 雪あられがあった。
- 28 霧又は氷霧があった
- 29 雷電があった (降水を伴ってもよい)

} しゅう雨性でない降水

ww=30-39: 砂じんあらし (duststorm or sandstorm), 地ふぶき (drifting or blowing snow)

- 30 砂じんあらし, 弱又は並 (*視程 500m 以上) 観測時前 1 時間内にうすくなった。
- 31 砂じんあらし, 弱又は並 (*視程 500m 以上) 観測時前 1 時間内変化なし
- 32 砂じんあらし, 弱又は並 (*視程 500m 以上) 観測時前 1 時間内に始まった又は濃くなった。
- 33 砂じんあらし, 強 (*視程 500m 未満) 観測時前 1 時間内にうすくなった。
- 34 砂じんあらし, 強 (*視程 500m 未満) 観測時前 1 時間内に変化なし
- 35 砂じんあらし, 強 (*視程 500m 未満) 観測時前 1 時間内に始まった又は濃くなった
- 36 地ふぶき, 弱又は並 (*見かけの視程 500m 以上), 目の高さより低い (drifting snow)
- 37 地ふぶき, 強 (*見かけの視程 500m 未満), 目の高さより低い (drifting snow)
- 38 地ふぶき, 弱又は並 (*視程 500m 以上), 目の高さより高い (blowing snow)
- 39 地ふぶき, 強 (*視程 500m 未満), 目の高さより高い (blowing snow)

ww=40-49：観測時に霧又は氷霧あり

40 観測時に離れた所に霧又は氷霧があるが、観測時前1時間内に観測所にはなかった、その霧又は氷霧は観測者よりも高い所まで広がっている

41 霧又は氷霧が散在している

42 霧又は氷霧、空を透視できる

43 霧又は氷霧、空を透視できない

} 観測時前1時間内にうすくなった

44 霧又は氷霧、空を透視できる

45 霧又は氷霧、空を透視できない

} 観測時前1時間内に変化はなかった

46 霧又は氷霧、空を透視できる

47 霧又は氷霧、空を透視できない

} 観測時1時間内に始まった又は濃くなった

48 霧、霧氷 (rime) 発生中、空を透視できる

49 霧、霧氷 (rime) 発生中、空を透視できない

ww=50-99：観測時に観測所に降水あり

ww=50-59：霧雨

50 霧雨、観測時前1時間内に止み間があった

51 霧雨、観測時前1時間内に止み間がなかった

} 観測時に弱

52 霧雨、観測時前1時間内に止み間があった

53 霧雨、観測時前1時間内に止み間がなかった

} 観測時に並

54 霧雨、観測時前1時間内に止み間があった

55 霧雨、観測時前1時間内に止み間がなかった

} 観測時に強

56 着氷性の霧雨 (freezing drizzle)、弱

57 着氷性の霧雨 (freezing drizzle)、並又は強

58 霧雨と雨、弱

59 霧雨と雨、並又は強

ww=60-69 : 雨 (rain)

- | | | | |
|----|-----------------------------|---|-------|
| 60 | 雨, 観測時前1時間内に止み間があった | } | 観測時に弱 |
| 61 | 雨, 観測時前, 1時間内に止み間がなかった | | |
| 62 | 雨, 観測時前1時間内に止み間があった | } | 観測時に並 |
| 63 | 雨, 観測時前1時間内に止み間がなかった | | |
| 64 | 雨, 観測時前1時間内に止み間があった | } | 観測時に強 |
| 65 | 雨, 観測時前1時間内に止み間がなかった | | |
| 66 | 着氷性の雨 (freezing rain), 弱 | | |
| 67 | 着氷性の雨 (freezing rain), 並又は強 | | |
| 68 | みぞれ又は, 霧雨と雪, 弱 | | |
| 69 | みぞれ又は, 霧雨と雪, 並又は強 | | |

ww=70-79 : しゅう雨性でない固体降水 (solid precipitation)

- | | | | |
|----|--|---|----------|
| 70 | 雪, 観測時前1時間内に止み間があった | } | 観測時に弱 |
| 71 | 雪, 観測時前1時間内に止み間がなかった | | |
| 72 | 雪, 観測時前1時間内に止み間があった | } | 観測時に並 |
| 73 | 雪, 観測時前1時間内に止み間がなかった | | |
| 74 | 雪, 観測時前1時間内に止み間があった | } | 観測時に強 |
| 75 | 雪, 観測時前1時間内に止み間がなかった | | |
| 76 | 細氷 (diamond dust) | } | 霧があってもよい |
| 77 | 霧雪 (snow grains) | | |
| 78 | 単独結晶の雪 (isolated star-like snow crystals), 霧があってもよい。 | | |
| 79 | 凍雨 (ice pellets) | | |

ww=80-99 : しゅう雨性降水 (showery precipitation) 又は雷電を伴う降水

- 80 しゅう雨, 弱
- 81 しゅう雨, 並又は強
- 82 しゅう雨, 激しい
- 83 しゅう雨性のみぞれ, 弱
- 84 しゅう雨性のみぞれ, 並又は強
- 85 しゅう雪, 弱
- 86 しゅう雪, 並又は強
- 87 雪あられ (snow pellets) 又は氷あられ (small hail), 弱, 雨又はみぞれを伴ってもよい
- 88 雪あられ又は氷あられ, 並又は強, 雨又はみぞれを伴ってもよい
- 89 ひょう (hail), 弱, 雨又はみぞれを伴ってもよい, 雷鳴はない
- 90 ひょう, 並又は強, 雨又はみぞれを伴ってもよい, 雷鳴はない
- 91 観測時に雨, 弱
- 92 観測時に雨, 並又は強
- 93 観測時に雪, みぞれ, 雪あられ, 氷あられ又はひょう, 弱
- 94 観測時に雪, みぞれ, 雪あられ, 氷あられ又はひょう, 並又は強
- 95 雷電, 弱又は並, 観測時にひょう, 氷あられ, 又は雪あられは伴わないが雨, 雪又はみぞれを伴う
- 96 雷電, 弱又は並, 観測時にひょう, 氷あられ, 又は雪あられを伴う
- 97 雷電, 強, 観測時にひょう, 氷あられ又は雪あられは伴わないが雨, 雪又はみぞれを伴う
- 98 雷電, 観測時に砂じんあらし (duststorm or sandstorm) を伴う
- 99 雷電, 強, 観測時にひょう, 氷あられ又は雪あられを伴う

} 前 1 時間内に雷電があつたが観測時にはない

} 観測時に雷電

WaWa—自動気象観測所の現在天気

- 00 重要な天気観測されない
- 01 観測時前1時間内に雲が消散しているか又は衰弱している
- 02 観測時前1時間内に空模様全般に変化がない
- 03 観測時前1時間内に雲が発生しているか又は発達している
- 04 煙霧又は煙、又はちりが浮遊している（視程 1km 以上）
- 05 煙霧又は煙、又はちりが浮遊している（視程 1km 未満）
- 06 } 保留
- 07 } 保留
- 08 } 保留
- 09 } 保留
- 10 もや
- 11 細氷 (diamond dust)
- 12 遠い電光 (distant lightning)
- 13 } 保留
- 14 } 保留
- 15 } 保留
- 16 } 保留
- 17 } 保留
- 18 スコール
- 19 保留

WaWa=20~26：観測時前1時間内に観測所に降水、霧、氷霧又は雷電があったが、観測時にはない

- 20 霧があった
- 21 降水があった
- 22 霧雨又は霧雪 (snow grains) があった
- 23 雨があった
- 24 雪があった
- 25 着氷性の霧雨 (freezing drizzle) 又は着氷性の雨 (freezing rain) があった
- 26 雷電があった (降水を伴ってもよい)
- 27 地ふぶき又は風じん (blowing or drifting snow or sand)
- 28 地ふぶき又は風じん (blowing or drifting snow or sand) (視程 1km 以上)
- 29 地ふぶき又は風じん (blowing or drifting snow or sand) (視程 1km 未満)
- 30 霧

- 31 霧又は氷霧が散在している
- 32 霧又は氷霧，観測時前1時間内にうすくなった
- 33 霧又は氷霧，観測時前1時間内に変化はなかった
- 34 霧又は氷霧，観測時前1時間内に始まった又は濃くなった
- 35 霧，霧氷 (depositing rime) 発生中
- 36 }
↓ } 保 留
39 }

- 40 降水
- 41 降水，弱又は並
- 42 降水，強
- 43 液体降水 (liquid precipitation)，弱又は並
- 44 液体降水 (liquid precipitation)，強
- 45 固体降水 (solid precipitation)，弱又は並
- 46 固体降水 (solid precipitation)，強
- 47 着氷性の降水 (freezing precipitation)，弱又は並
- 48 着氷性の降水 (freezing precipitation)，強
- 49 保 留

- 50 霧雨
- 51 霧雨，弱
- 52 霧雨，並
- 53 霧雨，強
- 54 着氷性の霧雨 (freezing drizzle)，弱
- 55 着氷性の霧雨 (freezing drizzle)，並
- 56 着氷性の霧雨 (freezing drizzle)，強
- 57 霧雨と雨 (drizzle and rain)，弱
- 58 霧雨と雨 (drizzle and rain)，並又は強
- 59 保 留

- 60 雨
- 61 雨，弱
- 62 雨，並
- 63 雨，強
- 64 着氷性の雨 (freezing rain)，弱

- 65 着氷性の雨 (freezing rain), 並
- 66 着氷性の雨 (freezing rain), 強
- 67 みぞれ又は霧雨と雪, 弱
- 68 みぞれ又は霧雨と雪, 並又は強
- 69 保 留

- 70 雪
- 71 雪, 弱
- 72 雪, 並
- 73 雪, 強
- 74 凍雨 (ice pellets), 弱
- 75 凍雨 (ice pellets), 並
- 76 凍雨 (ice pellets), 強
- 77 霧雪 (snow grains)
- 78 氷晶 (ice crystals)
- 79 保 留

- 80 しゅう雨性又は観測時前1時間内に止み間があった降水
- 81 しゅう雨又は観測時前1時間内に止み間があった雨, 弱
- 82 しゅう雨又は観測時前1時間内に止み間があった雨, 並
- 83 しゅう雨又は観測時前1時間内に止み間があった雨, 強
- 84 しゅう雨又は観測時前1時間内に止み間があった雨・激しい
- 85 しゅう雪又は観測時前1時間内に止み間があった雪, 弱
- 86 しゅう雪又は観測時前1時間内に止み間があった雪, 並
- 87 しゅう雪又は観測時前1時間内に止み間があった雪, 強
- 88 保 留
- 89 ひょう (hail)

- 90 雷電
- 91 雷電, 弱又は並, 降水は伴わない
- 92 雷電, 弱又は並, しゅう雨及び／又はしゅう雪を伴う
- 93 雷電, 弱又は並, ひょう (hail) を伴う
- 94 雷電 強, 降水は伴わない
- 95 雷電, 強, しゅう雨及び／又はしゅう雪を伴う
- 96 雷電, 強, ひょう (hail) を伴う

97 } 保留
98 }

99 竜巻 (tornado)

注：(1) この符号表では，簡易な測器を備えた観測所から，複雑な測器を備えた観測所まで利用できるように，天気を段階別に表現している。

(2) 総括的な天気を表す数字符号（例えば，霧 (WaWa=30)，霧雨 (WaWa=50)）は，天気の種類以外は観測できない観測所で用いる。

(3) 降水全般を示す数字符号 (WaWa=40~48) は，大きな数字符号ほど複雑な観測内容を表すようになっている。

例えば，以下のとおり

WaWa=40 降水の有無のみ観測できる非常に簡易な測器を備えた観測所で用いる。

WaWa=41, 42 降水量は観測できるが，その種類は観測できない観測所で用いる。

WaWa=43~48 降水の種類（液体，固体，着氷性）及び降水量を観測できる観測所で用いる。

降水の種類は報告できるが，降水量は観測できない観測所では，霧雨は WaWa=50，雨は，WaWa=60 等の 10 の倍数の数字符号を用いて報ずる。

5239

Z_i—氷の現状と前 3 時間の変化状態

0 船は視界内に浮氷を伴う開放水面にある

1 船が容易に突き抜ける氷；状態は良くなっている

2 船が容易に突き抜ける氷；状態は変化していない

3 船が容易に突き抜ける氷；状態は悪くなっている

4 船が突き抜けるのに困難な氷；状態は良くなっている

5 船が突き抜けるのに困難な氷；状態は変化していない

6 結氷しつつある (ice forming) か水盤

が互いに凍結しつつある

7 弱い圧迫氷

8 並又は強い圧迫氷

9 船は氷に包囲され動けない

/ 暗闇又は視程不良のため報告できない

船は突き抜けるのに困難な氷の中にあり，状態は悪化しつつある

船は氷の中にある